

香川県がん診療連携協議会地域連携パス専門部会（胃がん）会議メモ

- 1 日 時 平成21年8月25日（火） 19:00～20:00
- 2 場 所 香川大学医学部基礎臨床研究棟4階会議室（453号室）
- 3 出席者 香川大学医学部附属病院消化器外科助教 萩池 昌信
香川県立中央病院外科部長 小野田 裕士
香川労災病院外科副部長 小林 正彦
オブザーバー
香川県立中央病院外科部長 青江 基
香川県健康福祉部医務国保課副主幹 佐々木 秀朗
香川大学医学部附属病院中核病院機能強化支援室長 松岡 實夫

4 概 要

胃がん専門部会のリーダーである香川県立中央病院の小野田先生が議長となり、意見交換をした。

1. パスの作成と今後の進め方（地域連携パス部会での検討事項を含む）
 - (1) 本部会でパスの中身を検討し、9月中に成案を作成する。
 - (2) パスの成案をもとに、各拠点病院において連携している地域の医療機関との間で試験運用を行い、問題点を洗い出す。
 - (3) 全体のパス部会において、地域連携パスに係る共通部分（フローチャート、私のカルテ等）を検討する。
 - (4) 5大がんのパスの成案が整理できた段階で、県医師会と協議し、県内各医療機関向けのアンケート調査を行う。
 - (5) 地域連携パスを運用する場合には、各医療機関（かかりつけ医）との間でミーティングを行い、医療機関間の相互理解を深める。
2. 胃がんのパスについて
 - (1) パスの形については、谷水班の地域連携パスを基本的に土台として、香川県独自の変更を加えて作成する。
 - (2) 第一段階として、術後化学療法なしの患者のみを対象とする。
 - (3) Follow up schedule は、US・CTを半年毎、胸部から骨盤までを単純、腹部を造影し、血液検査は3か月毎（腫瘍マーカー3項目も含む）実施する。開業医に分かりやすくするために、必須は●任意は（○）とし、区別をする。
 - (4) 連携パスの期間は5年とし、1か月目、後3か月毎にフォローアップを行う。検査施行施設名は無記名とし、拠点病院、かかりつけ医のいずれでも施行可能とするが、検査漏れがないよう記入する。予約は拠点病院で半年毎、間は開業医の予約とする。
 - (5) 問診、診察の各項目については、三豊総合病院のパスを参考とする。
 - (6) 以上の意見を参考に、パスを修正し、かかりつけ医用及び患者用説明資料を9月中旬までに作成し、メール配信する。

- (7) 今後、本部会での検討事項は、メールのやり取りで行い、問題があれば会議を開催する。
- (8) 予算があるので、その予算を使い、小冊子を作成し各施設に配布するよう検討したい。
- (9) 私のカルテは薄くし、関係医師間の連携のための情報交換については、各医師の手間を最小限にするよう工夫する。

以 上